

新 緑 風 会	◎河尻 浩一 大杉 吉包 水谷 進 山口 善之 山中 智博 曾我 正彦 加藤 公友 松葉谷光由
自由民主党鈴鹿市議団	◎宮木 健 野間 芳実 森 喜代造 森 雅之 太田 龍三 田中 淳一 桐生 常朗
市 民 の 声	◎中西 大輔 市川 哲夫 藪田 啓介 市川 昇 藤井 栄治
諸派(公 明 党)	◎藤浪 清司 船間 涼子
諸派(鈴 和)	◎田中 通 南条 雄士
諸派(日本共産党)	◎石田 秀三 高橋さつき
無 所 属	矢田真佐美
無 所 属	池上 茂樹(議長)

◎: 会派等代表者

採決時の会派等構成員一覧です。

一般質問 (要旨)

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をたずめるものです。

諸派(公明党)

藤浪 清司 議員

狂犬病予防について

(質問) 飼い犬(畜犬)登録数、予防注射接種数、接種率、未接種数、適正な登録内容の管理と予防接種率を改善する対策について尋ねる。

(答弁) 令和5年度は登録数1万4,244頭、予防注射接種数9,067頭、接種率63.7%、未接種数5,177頭。未接種数には死亡や飼い主の転出などで登録変更されないものも一定数含まれる。今後、SNSによる啓発の充実、返送された接種案内通知の追跡調査により、適正な登録の指導を徹底するなど改善を進める。

その他の質問 ○時間外労働の是正
○上下水道の維持管理・更新



市民の声

藪田 啓介 議員

鈴鹿市の医療体制について

(質問) 本年度から健康づくり課が地域医療推進課と子ども保健課に組織改編されたがメリットは何か。また本市で開業いただいている小児科などの医院・診療所の継続のための施策はどうなっているのか。

(答弁) 母子保健機能と児童福祉機能を併せ持つ鈴鹿市こども家庭センターとして一体的な連携を強化し、子どもと子育て世代への途切れのない支援を推進する。また、将来的に開業小児科医師の不足も懸念されることから国や県に対し小児科医師の確保や医師の地域偏在などの対策を要望していく。



市民の声

中西 大輔 議員

子ども政策について

(質問) 子ども条例策定のスケジュールをこども基本法、こども大綱、こどもまんなか実行計画など国や県の動向を踏まえ見直し、議論を行うてはどうか。条例策定で子ども・若者の参画と意見表明は不十分と考えるため尊重して取り組む考えはあるか。

(答弁) 国や県の動きを随時確認することを念頭に置きつつ現在のスケジュールで条例制定に取り組み、より実効性のある施策を推進する。条例制定後も子どもの意見表明や社会参画の機会の確保に向け取り組む。

その他の質問 ○学校規模適正化・適正配置



市民の声

藤井 栄治 議員

鈴鹿市の上水道について

(質問) 水道水における有機フッ素化合物「PFOSおよびPFOA」は、人体への有害性が指摘されており、アメリカでは基準値を1リットル当たり4ナノグラムに決定した。本市の基準値、数値開示および今後の対応を問う。

(答弁) 本市では国に準じ1リットル当たり50ナノグラム以下を基準値としており、これまでの水源地での最大値は10ナノグラム、平均値は5ナノグラム未満であった。今後は上下水道局のウェブサイト为数値開示するとともに、国の動向を踏まえ対応していく。

その他の質問 ○地域公共交通

